

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ギフト		令和8年 7月 24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		1、2階で分かれて療育をしているため、適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		各フロアは段差がなく、バリアフリーになっている	階段には手すりはあるが狭いため、二階に移動する際は安全に配慮する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		職員だけでなく、子どもたちも活動の中や帰りなどに清掃し、清潔に保っている	子どもたちの動きや導線を考え、様子を見て改善を行っていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて個室を使用できるように配慮している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表等の意見を職員会議で話し合い、職員全員が把握できるようにしている	保護者様からの意見を真摯に受けとめ、業務改善に努めていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の朝礼や昼礼で申し送りなど意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		今後検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		決められた社内研修を毎月実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報などを含めてニーズや課題を分析し、計画作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画さくせいにおいて、職員間で支援会議を実施し、検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の子どもの様子を記録し、職員間で共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		個別支援計画の中で5領域を支援内容に盛り込み計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティングなどの話し合いで活動内容を立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動内容が固定化しないよう話し合い、決定している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		日々の療育の中で、個別活動と集団活動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		日々朝礼や昼礼を行い、当日の支援内容や配慮すべき点を話し合い確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6		当日話し合いができなかったときは、翌日の朝礼や昼礼で共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録を取っており、職員間で振り返りを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度モニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			子どもの様子に合わせて適宜支援していきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に参画している	内容を職員で共有している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			必要に応じて連携していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に学校と連携が取れるよう、担任の先生と話をし、情報共有をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者様から情報共有していただいている	必要に応じて情報を共有してもらう
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			保護者や相談支援事業所を通して、情報提供や共有を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		必要に応じて助言を受ける機会を持つようにする
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		活動はしていないが、利用している児童がいるため、必要に応じて情報共有を行う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		協議会から参加依頼（案内）があるときは参加している	可能な範囲で参加し、情報収集、共有に努める
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡ツールを用いて情報交換を行ったり、面談時に話をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		プログラムとしては実施していないため、今後必要に応じて検討する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談時に意向について話を伺うようにし、確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		面談時や送迎時に説明を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族様からのお悩み等に対して助言等の支援を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者参観を行い、保護者様同士の関わりをもつ機会を設けている	引き続き実施に向けて検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情をいただいた際は、迅速かつ適切な対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSで日々の活動を発信したり、毎月通信を発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後必要に応じて検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		それぞれのマニュアルを作成して訓練を実施している	保護者様にも周知できるよう、積極的に掲示していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的を実施している	今後も様々なことを想定した訓練を検討し実施していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		フェイスシートにて保護者様より情報共有いただいている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様を通じて対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		社内研修を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者様と連携を図っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		日々の打ち合わせで情報共有、対応検討を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		社内研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		社内研修を実施している	